



ゆきぐに大和病院だより

理念

私たちは、自然のうるおいの中で、
人それぞれの希望に満ちた暮らしを支え、地域医療を推進します。

2013
8月号

認知症の人と家族の方は 「あんしん手帳」をお持ちください

院長・認知症疾患医療センター長 宮 永和 夫

認知症の人数が、実際は予測以上にたくさんいることがわかりました。早く気づき、対応することが大切です。

最近、認知症の人の数は440万人、その予備軍も380万人ほど存在するとの新聞報道がありました。それも平成22年度の推定値ですから、現在はもっと多くなっていると思います。実は、厚生労働省は10年ほど前の推定値で現在の認知症の人の医療と福祉の計画を立てていました。この報告が出て、一番驚いたのは皆さんでなく、厚生労働省自身ではなかったでしょうか。

南魚沼市では、以前より市独自の事業として認知症の発症を予防するための活動を行ってきました。これは、今後も引き続いて行うべき重要な活動ですが、一方で、すでに認知症になった人については、できるだけ速やかに必要な治療とケアを行って、認知症の進行を遅らせたり、適切な対応をすることが大切だと思います。

「あんしん手帳」は、本人と家族を最初から最後まで支援するツール（道具）です。

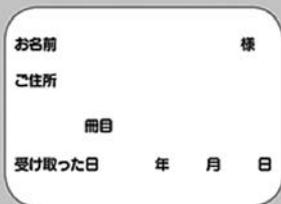
ここで話をする「あんしん手帳」というのは、医療機関で診断や病気の告知を受けた始めの時期から、全介助が必要な末期まで、医療、福祉、行政のスタッフが情報を共有しながら、本人とご家族を見守り・支援するために作られた手帳です。新潟県には現在6つ、認知症を専門

に扱う「認知症疾患医療センター」という組織がありますが、そのセンターが中心となつて、昨年より開始された事業です。魚沼地域などでは一年遅れて今年の7月より始まりました。なお、ここでいう魚沼地区などには、南魚沼市、魚沼市、十日町市、湯沢町、津南町、小千谷市の一部が入ります。

「あんしん手帳」は、学校の連絡ノートと同じです。診察や相談の時に使えますので、必要なことを書き、持参してください。

「あんしん手帳」は、病院・診療所に受診する時やケアマネジャーと本人のケアの相談をする時、介護サービスを受ける時に、本人の状態を確認したり、連絡事項を書き入れるものです。医師やケアマネジャーが一方的に書き入れるものでなく、ご家族の方にも本人の様子を記入して頂く項目があります。小学校などで使用されている「連絡ノート」や、「デイサー

あんしん手帳



ビスからの「連絡帳」に似ています。ぜひ、お薬手帳、血圧手帳、糖尿病手帳などと同じように常時携帯しててください。ただ、福祉関係はほとんど全体が参加しておりませんが、認知症の治療や相談をしていない医療機関（病院や診療所）の一部はこの事業に参加していません。現在受診されているかかりつけの医師が参加されているか否かは、医師に直接お聞きいただくか、「あんしん手帳」とセットでお渡しする手引き書の中の案内で確認いただきたいと思います。また、これらの内容は、ゆきぐに大和病院のホームページにも掲載しておりますので、ご覧頂くこともできます（病院ホームページ上の「病院について」各部門の案内「認知症疾患医療センター」と見てください）。

あんしん手帳は、以下のところで発行します。申込書を書いていただくとお受け取りができます。すべて無料です。

1. 通院されている病院や診療所（ただし、参加されていない場合もありますので、先生にご確認ください）
2. 居宅介護支援事業所（本人の担当となつている介護支援専門員・ケアマネジャーのいる事業所）
3. 地域包括支援センター（大和・六日町・塩沢）
4. 市の保健課、福祉課
5. 南魚沼地域振興局（六日町保健所）



診療日のご案内

入院患者さまとの面会は、
月曜日～金曜日：15：00～20：00、
土曜日・日曜日・休日13：00～20：00
となります。（時間厳守）

説明 診療科に対する曜日欄の記載は、○＝診療日、—＝休診となります。
○と（休診有）の記載がある場合は、当月に臨時休診があります。備考欄で、休診日をご確認ください。
また、曜日欄に「日付」の記載がある場合は、記載の日のみの診療となります。

整形外科		月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日	
一般外来	予約外	○	10名で 受付終了	○	○ (休診有)	○	新患のみ	8:00～10:00	⑧⑨⑩9:00～ ⑪⑫⑬10:20～	休診＝1日(休)、15日(休)、 29日(休) ※一日15名で受付終了	
	予約	○	○	○	○	○	—	予約方法は、P3上「予約 または予約変更について」 をご参照ください。			
専門外来	脊椎	—	6日・20日	—	—	—	—	予約制 予約方法は、P3上「予約 または予約変更について」 をご参照ください。	10:20～		
	上肢	—	—	—	○	—	—		9:00～		
	足	—	—	—	—	—	10日				
	リウマチ	—	—	—	—	—	3日・17日				
	退院後	○	—	—	—	—	—				
	人工関節	—	—	○	—	—	—				
	骨粗しょう症	—	—	—	○	—	—				

形成外科		月	火	水	木	金	土	受付	診療	備考・休診日
		—	—	—	—	○	—	13:00～14:30	13:30～	

★子どもの予防接種日程

予防接種	接種日	受付時間	接種時間
3種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風)	8月2日(金)	13:20～ 14:00	13:30～
	8月16日(金)		
	8月30日(金)		
ポリオ	8月2日(金)		
	8月16日(金)		
	8月30日(金)		
4種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	8月2日(金)		
	8月16日(金)		
	8月30日(金)		
麻しん・風しん混合 1期 2期	8月23日(金)		
日本脳炎	8月9日(金)		
2種混合 (ジフテリア・百日咳)	8月9日(金)		
B C G	8月23日(金)		

※予約が必要です。予約・お問い合わせは、医事課まで。
※小児のヒブ、肺炎球菌、中学生の子宮頸がん予防接種は上記日程
全般で行います。
※4種混合予防接種の予約については、全国的にワクチンの供給量
不足が生じており、ワクチンの確保ができない場合、4種混合接
種はお断りすることがあります。その場合、3種混合と不活化ポ
リオの接種をご案内させていただきますので、ご了承ください。

医師別の診療予定が必要な方は、医師（名字）・
診療日（数字）が記載された一覧を、医療連携室
に用意してあります。

病院休診日のお知らせ

19日(月)第3月曜日

※各診療科の休診日は、「診療科・診療日の案内」
の最右「備考・休診日」欄でご確認ください。

病院の「なぜ？」
皆さんの疑問にお答えします

「会計と院内処方薬」の待ち時間について

待ち時間編

Q 「会計」と院内薬局の「処方薬」ができてから、待つのに時間がかかりすぎて、いるような気がします。
なるべく待たないよう、何とか早くならないでしょうか？

A 会計の待ち時間につきまして、は、各外来で患者さまが診療終了後に会計へと移動され伝票を提出、会計の呼び出しまでの間に診療費計算業務があるため、お待ちいただくこととなります。
時間帯によっては各外来からの患者さまが会計へ集中し、診療費の計算業務が量的に多くなり、処理に時間を要し、ご指摘のとおり長くお待ちいただくことになってしまいます。

今後とも迅速で正確な診療費計算を心がけますが、どうかこのような状況もご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

また、院内処方薬につきまして、できるだけ待ち時間の少ないように調剤することを心がけていますが、処方内容(例えば一包化調剤等)によっては、お待ちいただく時間が長くなる場合があります。
待ち時間を少しでも短くできるように取り組んでいきますので、ご理解をお願いいたします。



平成25年8月

診療科

予約または予約変更について

受付日時：予約または予約変更をしたい診療科が診療している日(月～金曜日)の、午後2時～4時(歯科は歯科の受付欄参照)
 方 法：電話にて受け付けます。
 ※予約変更は、「やむを得ない」場合に限ります。

ゆきぐに大和病院 代表

TEL 025-777-2111

FAX 025-777-3853

内 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	○	○	○	○	○	○	8:00～ 11:00	9:00～	休診=13日(火)
内分泌 糖尿病	午前	○ (休診有)	○	○	○	—			
	午後	—	—	○	—	—	13:00～14:30	13:30～	
循環器科	○	備考参照	○	○	—	10日・24日	8:00～ 11:00	9:00～	火曜日=予約制
腎臓科	—	—	—	—	16日・23日	17日		10:15～	
呼吸器科	—	—	—	○	—	3日・10日・ 17日・24日		9:00～	休診=12日(月、15日(木)、16日(金)) 初診は予約が必要
神経内科	○ (休診有)	○	—	○ (休診有)	○ (休診有)	—		13:30～	休診=8日(木)
睡眠時無呼吸	—	—	—	○ (休診有)	—	—	予約制 (3ページ上の記事参照)	13:30～	休診=8日(木)

和漢診療科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前	○ (休診有)	○ (休診有)	○ (休診有)	○ (休診有)	○ (休診有)	○ (休診有)	8:00～11:00	9:00～	休診=22日(木)、23日(金)、24日(土)、 26日(月)、27日(火)、28日(水)
午 後	○ (休診有)	○ (休診有)	○ (休診有)	○ (休診有)	○ (休診有)	—	13:00～14:30	13:30～	休診=1日(木)、8日(木)、22日(木)、 23日(金)、24日(土)、26日(月)、 27日(火)、28日(水)、29日(木)

精 神 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般外来	—	○	—	○	○	○	予約制 (3ページ上の記事参照)	9:00～	休診=14日(水)
メモリークリニック	○	—	○ (休診有)	—	○	—		①②9:30～ ③13:30～	
高次脳機能障害科	12日・25日	—	—	—	—	—		13:30～	

外 胃 腸 科 肛 門 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
	○	○	○	○	○	○	8:00～11:00	9:00～ 第1・3・5④ 10:00～	

小 児 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般 外来	午 前	○	—	○	—	○	8:00～11:00	9:00～	
	午 後	—	—	—	—	○	予約制 (3ページ上の記事参照)	14:00～	

婦 人 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
一般受付	—	—	—	—	○	○	8:00～11:00	9:15～	予約優先
予約制	—	○	○	○ (休診有)	—	—	予約制 (3ページ上の記事参照)	④9:15～ ⑤⑥10:30～	休診=15日(木)

眼 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
予約制	—	—	—	—	—	○	予約制 (電話予約可 月～金曜日 14:00～16:00)	9:00～	当院眼科医師より 再診の指示がある方のみ

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
午 前	—	—	—	—	—	○	8:00～11:00	9:00～	
午 後	—	○	—	○	—	—	13:00～15:00	14:00～	
皮 膚 科	—	○	○	—	○	—	8:00～11:00	9:00～	
泌 尿 器 科	—	—	—	○	—	—			

歯 科	月	火	水	木	金	土	受 付	診 療	備考・休診日
歯科・小児歯科	○	○	○	○	○	○	予約制 (電話予約可 10:00～12:30 13:30～16:00)	9:00～	
矯正科	—	—	7日・21日・ 28日	—	—	—			
歯科口腔外科	○	○	—	○	○	○			

市立病院群のあり方住民説明会

問答報告

藪神地区編

市立病院群再編に向けて開催された地元住民説明会の内容を掲載します。

今回は藪神地区の会場での内容となり、住民参加者は41名でした。

●期日 3月20日(水)
●会場 一村尾 藪神地域コミュニティセンター
まほろば

市立病院群の建設進捗について

問：病院建設に向けた今の状況はどうなっていますか。
答：新しい六日町地域の病院は予算措置が済んでおり、設計を行っています。新しい大和地域の病院については、まだ具体的に示すことはできません。方向性が決まりしだい、議会に諮りながら住民にお知らせします。

新病院の建設場所と

基幹病院との役割分担について

問：大和地域の新しい病院建設場所について、基幹病院と同じ場所の方がより良いサービスが受けられるか、それとも別の場所の方がいいのでしょうか。
答：基幹病院は救急、高度医療、紹介型の病院であり、新しい大和病院は高齢者を中心とした内科疾患等の入院機能を持つ病院を予定しています。それぞれ病院の機能と役割が違うことから、同じ場所でなくとも良いと考えています。建設場所がどうであれ、提供できる医療サービスには大きな差はないと思っています。

問：駅の近くにあれば便利だし、いろいろな手続きや相談を考えると市民センターと隣接しているとありがたいのですが。
問：建設場所については現在の場所を希望します。

答：県の計画では基幹病院と新しい大和地域の病院を接続する考えでしたが、今は別の場所への建設も検討しています。建設場所のご要望については、ご意見として伺います。

診療体制について

問：眼科など、大和地域の新しい病院にはない診療科は六日町まで行かないと受診できないのですか。それとも基幹病院へ行けば受診できるのですか。
答：例えばお産については、産婦人科医だけでなく小児科医や麻酔科医の体制が整っていることが必要なので、基幹病院で対応してもらおうことになると思います。大和地域の新しい病院にない診療科目については、今後、基幹病院の診療科目や医師が決まってきたら調整となります。受診について住民の皆さんが不安を抱かないよう、今後「病院だより」でお知らせしていきます。

問：新しい大和地域の病院にない診療科は、基幹病院で診てもらえるのですか。診てもらえたら、どこで紹介状を書いてもらうのか。
答：新しい大和地域の病院にない診療科については、当面診てもらっている医師から紹介状をもらい、基幹病院へ行っていただくこととなります。一度受診すれば、以後は普通に受診できるようになります。今後、診療方法について基幹病院と調整をしていく予定です。不安や不自由のないよう努めていきたいと思えます。

療養病棟について

問：療養病棟はどうなるのか。
答：療養病棟の代替え機能として老人保健施設をつくるのか、あるいは療養病棟を一部残すのか検討しています。国は病院内に療養病棟をなくす方向で考えていますが、私たちはその機能をなくすのではなく、どういう機能で提供するのが良いかを検討しています。

問：基幹病院は救急専門と聞いています。救急で入院後、一定期間を経過したら新しい大和地域の病院で診てもらえるのですか。
答：基本的にはそのようになりますが、病床数の関係もありますし、介護度によっては老人保健施設での受入れもあります。

健友館・人間ドックについて

問：健友館はどうなるのですか。
答：健友館は、年間4300人くらいの方が人間ドックを利用しており、住民健診等のすべてを含めると年間おおむね1万2,000人の方が健友館を利用しています。最近では、人間ドックと住民健診で求められる機能と施設整備が異なってきました。人間ドックは、プライベートに配慮した設備や構造が必要であり、住民健診は大勢の人を一度に問診・検査できる体制が必要となるので、人間ドックと住民健診を一つの施設で行うのは難しいのです。人間ドックや住民健診をどうするかについては、行政の窓口である市役所・保健課と協議していきます。

病院バスについて

問：巡回バスはどうなるのですか。
答：バスの運行については、市役所・都市計画課で見直しを行っています。大和地域は今までの予定ですが、皆さんのご意見や運営費用を考慮しながら、今後検討していくこととなります。

医療機器の移設・導入と移行期の休止について

問：医療機器は今あるものを移設することになるのですか。もし、移設するのであれば、その期間は検査や診療ができなくなるのか。
答：医療機器については、移設して使うものと購入するものがあります。新しい六日町地域の新しい病院については予算計上されていますが、新しい大和地域の新しい病院の予算は、診療科目等の内容が明確になってからになります。いずれにしろ診療体制に不都合が生じないよう万全を期したいと考えています。